



発行所
愛徳学園同窓会
神戸・垂水

会長挨拶



会長
石井トクコ・アイリーニ
(七回生 旧姓ヤング)

会報の原稿を書く時期には、いつも日本各地から桜の開花宣言が届きます。満開の木々には生命力がみなぎり、薄紅色の風が吹き、お花見の華やきが聞こえてくる今日この頃ですが、同窓生の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

昨年はテロによる旅客機の爆破墜落、十一月、パリでの同時多発テロ、又つい先日、ブリュッセルでの地下鉄、空港構内でのテロにより、多くの方々、イスラム原理主義集団の犠牲となり、世界中の人々が衝撃を受け、愁いでいます。

私たち同窓生も、学園でのキリスト教育で神の愛と、許しの限りなき、隣人愛の大切

さを教わりました。単に神の教えを学んだだけではなく、私たちが平和の担い手になるように、しっかりと心を持たなくてはいけないと、改めて考えさせられました。ちょっとしたことで浮いたり、沈んだりを繰り返す、変わりやすい「心」をもっともつと磨いていかななくてはなりませんね。カトリックの教えを受けた私たちがからこそ伝えられることを、繋いで行けることを、行動や言葉で伝える

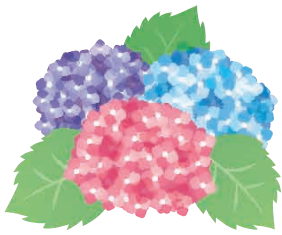
さて、今年には四十五名の同窓生をお迎えいたしました。若い方々のみなぎるパワーを頂きながら、本年度もよりよい同窓会の活動にしたいと、役員一同力を尽くしていきたいと考えております。四月六月は総会・会報の準備に、十月は運動会でのジュース販売に、十一月は同窓生の皆様の笑顔に出会えるバザーに、皆様方のお力を借りながら頑張っていく所存でございます。バザー当日は同窓会室で、お茶・お菓子・軽食の準備をしておりますので、同窓生はもちろん、シスター、諸先生方も是非、声をかけにお立ち寄りください。皆様方の賑やかな

お喋りの輪が広がることを、心待ちにいたしております。

役員・幹事の皆様方の多大なご尽力により、毎年新しい風と共に、同窓会もとてもスムーズに運営され、本当に感謝の限りです。先輩、後輩と、ともに立場の違う人間関係では意見が言いにくくなりがちですが、各々が考えたり、工夫したりすることで、垣根を取り除き、より素晴らしい同窓会の活動にして参りたいと願っております。これからも皆様方の忌憚のないご意見、ご支援を同窓会にお寄せくださいませ。

神の大きな導きの光が、今年もまた私どもの心を照らし続けてくださいますことに感謝いたします。

Todo por Amor



との連携を深めて参りたいと思っています。また本年6月から9月まで、同窓生の皆様にはおなじみの第1校舎の耐震工事をいたします。工事中は運動場が使えませんので、今年度の体育大会は10月1日に行います。

この他、「学校満足度調査」を9月に「学校生活に関するアンケート」として実施いたします。その際、卒業生のご意見を同窓会役員及び各回生の幹事の皆様にアンケートをご依頼し、お伺いいたしますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い致します。

未来に向かっての新しい、大きな構想を形にしていく中で、多くの期待と同時に様々な苦勞が教職員全体にありましたが、試行期間を経て、「Rainbow Program」を実施し、生徒の生き生きとした姿に接したことで、「これで良かった！」と生徒から力をもらい、大きな励ましとなりました。

今年度は「国際社会で活躍できる人材づくり」をテーマに、「愛徳グローバル教育」を「かたち」にしていくためのプロジェクトチームを立ち上げ、来年度より実施できるよう検討に入っています。どうぞご期待ください。

学園の新しい取り組みは、同窓会の皆様方が在学中に築いてこられた「学園の心」をよりどころにしています。どうか皆様のご深いご理解と温かいお励ましを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

皆様のお一人おひとりの上に神様の祝福が豊かに注がれますよう心からお祈り申し上げます。



Sr. 能美 啓子

「五月のささきを あめつち歌う ひと年めぐりて 百合咲く季節 マリア祝しませ 祝せられませ」 (聖歌351番)

この度の熊本地震で被害に遭われました方にお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

同窓会の皆様におかれましても、かつて修学旅行で訪れた熊本・大分の様子に心を痛めておられる方もいらっしゃるかと存じます。学園では小学生・中高生、職員も「私達にできること」として募金活動を開始いたしました。これから息の長い支援を続けて参ります。

ささやかではございますが、被災された方の何かのお役にたてれば幸いです。今日から5月、聖母月が始まりました。立ち上がる力を与えてくださるよう毎日の祈りで心を合わせています。

今年度、学園小学部は「聴こう、伝えよう、愛徳生の心」— 素直な子、考える子、合言葉は「はい・にこ・ぱっ」— を目標に掲げました。また中高部は昨年度より引き続き、教育目標「虹を架ける」のもと、「Rainbow Program」をさらに充実させつつ実践して参ります。

中高では、昨年8月には従来のLL教室をAL (アクティブラーニング) 教室に改修しました。同時に校内無線LANを構築して、各教室でタブレット端末 (iPad) を活用した授業が行えるようになりました。2020年度からの「大学入試」にも対応できるよう、「Rainbow Program」で生徒に「7つの力」を定着、向上させる新しい教育に取り組んでいます。また小学部では今年度、校内無線LANを構築してタブレット端末を活用したICT教育の実践を準備し、中高

五十二回生 新入会のご挨拶

この度同窓会員に入らせて頂きました、五十二回生四十五名です。

私達は温厚で個性豊かですが、内に熱い思いを秘めた団結力の強い回生です。

愛徳学園という温室を卒業し今までの環境に感謝すると同時に、未熟で分らないことも多い私達ですが精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。



第50回生 新成人 おめでとうございます!



私たち五十回生は愛徳学園高等学校を卒業して早くも二年が経ち、両親をはじめとする多くの方々に支えられて、この日成人の日を迎える事ができました。これを記念して私たちは初めて大々的に同窓会を行いました。残念ながら五十回生全員とはいかぬものの、学生時代に苦楽を共に過ごした多くの仲間たちと、お世話になった先生方にお越しいただき、楽しい時を過ごす

ことができました。会の半ばには来られた先生お一人ずつからお祝いのお言葉や、残念ながら来ることが出来なかった先生方からお祝いのお手紙をいただくなど、改めて成人の仲間入りを果たしたという嬉しい反面、これからは、大人として責任ある行動をしていかなければと、気持ちを新たにしたい人も多かったです。最後には全員で写真撮影をして、楽しく終えることが出来ました。またこうしてみんなで集まれる日を夢みて明日から、それぞれが自分の夢に向かって前を向いて進んでいこうと決意をした、そんな一日になりました。

恩師だより

田淵八州雄先生

卒業生の皆さん、お変わりありませんか。今回、同窓会の役員さんからの依頼を受けて少く自分の近況をお知らせできることを嬉しく思っています。

私は、専任教諭を辞してより引き続き非常勤講師として愛徳学園に勤めさせて頂いており、この四月で五年目の講師生活に入ります。この素晴らしい環境、生徒、先生方、保護者で形成されているコミュニティーに身を置かせて頂けることは有難いことです。また十一回生から二十八回生として教えた卒業生の御嬢さんたちを教える機会もあり、母娘の二世代にわたって教えることができたペアは十五組もあります。こんな光栄なことはありません。今回は近況として二つのことを紹介したいと思います。

① ボランティア活動

① モンゴル訪問

二〇一四年にモンゴルに行きました。ゾド(雪害)の為に家畜と家を失った遊牧民が首都のウランバートルに郊外に暮らしているのですが、家がなく不自由な生活を強いられています。そんな方々に十年前からゲル(モンゴルの伝統的な家)を建てて贈呈するボラ

ンティア活動が継続されておりました。モンゴルの地平線が、ずっと向うまで続いている草原の雄大さ、夜は満点の星を見てちっぽけな自分のことを忘れてしまい、癒しと恍惚の時を過ごしました！

② 阿波踊り

五月に近隣の小学校を訪ねて阿波踊りの講習をしました。小学五・六年生が運動会に阿波踊りを演じるのでお稽古のために教えるにいったのでした。

七月に、ある大学で学ぶ留学生に日本文化紹介シリーズの一つの番組として『お盆・盆踊り・阿波踊り』のプレゼンテーションを実施しました。前半は英語での講義、後半はゆかた姿での実演でした。阿波踊りを喜んで頂いてよかったです。

③ 中東和平プロジェクト・ボランティア通訳ガイド

二〇一三年は京都府京丹後市で、二〇一六年は静岡市で開催されたイスラエル・パレスチナ中東和平プロジェクトにボランティア通訳ガイドとして参加しました。イスラエルではお互いが敵対する関係にあるために友人が持てないのですが、日本の家庭でイスラエル・パレスチナの青年が一人ずつセットになってホームステイを体験することによりお互いを認め合い、理解しあうことができました。そのプロセスを見守ることが

とてもうれしかったです。ライフワークとして今後もこの活動に邁進したいものです。

② 趣味の世界

① 一万人の第九(ベートーベンの交響曲第九合唱)

明石市民の第九合唱団に入って二十五回くらいは歌っています。加えて十二月六日に大阪城ホールで『一万人の第九』(佐渡裕指揮)に参加して歌ってきました。『幾百万の人々よ、全ての人は同胞(兄弟)になる!』というメッセージをかみしめながら歌わせていただきました。歌を歌うのが好きな方、もしよろしかったら、御一緒に歌いませんか。

実は四十四回生で、母校の中高の音楽教諭としてお勤めして下さっていた角倉百々子先生も昨年、一昨年『一万人の第九』と一緒に歌ったのですよ。

② エスペラントの世界大会

エスペラントは細く長く続いています。フランスで開催された第一〇〇回世界大会に参加してきました。一つの言葉で世界各地から来られた方々と話ができるのは素晴らしいことでした。ベートーベンがあこがれた理想世界がこのエスペラントの世界の中に存在すると感じました。その大会の帰り道で、あこがれのパリを訪れました。ルーブル美術館、凱旋門、ノートルダム寺院、エッフェル塔は世界各地からの観光客

で一杯、色んな国の言葉が聞けて楽しかったです。現在はテロがあつて悲しい状況ですが、平和を取り戻し再度あこがれのパリを訪ねることを願っています。

この恩師だよりの原稿依頼を頂いた時は一月の初めでした。この時期は試練に遭って悩んでいる時でした。そんな折、偶然、検診で行った病院で四十一回生の二人の卒業生に出会う機会がありました。高二と高三の二年間担任した彼女たちが、その職場で生き生きと活躍されている姿を見ました。自分の周りには卒業生の教え子がいる、誰かが私を見守り、待っていてくれるんだと感じて癒しと元気をいただきました。

Aitoku Familyのメンバーでいらっしゃる卒業生の皆さんのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。お元気でお過ごしください！

同窓生だより

二十回生 大島 ゆか

卒業して三十年以上たちましたが、月日の進みは年々加速するように感じています。すでに、父母も亡くなり独りで仕事にプライベートに忙殺される毎日をご過ごしています。卒業後も愛徳の近くに住居を構えていることもあり、今

四回生クラス会

四回生 小池 悦子

昨年十月に私達四回生は、神戸オリエンタルホテルバンブールームでSr.堀井、Sr.中尾のご出席をお願いしクラス会を開催いたしました。

久しぶりに級友の皆様と楽しいひと時を過ごしました。速く高千穂で田舎ぐらしを始めた彼女や、老人会に入ったマドンナ、ご両親の看護、孫のお世話、「まだまだ、働いていますよ。」現役の方々の近況の話に盛りあがりました。

そろそろ、老齢期に差しかけた私達ですが、次回は、時々お茶会で顔を合わせ、友情、絆



(ルーブル美術館「民衆を導く自由の女神」の絵の前)

年度より役員の一に加わりました。微力ながら、お力になれるよう頑張ります。多くの卒業生の皆さんは「役員なんて面倒だし、面白くもない作業で自分の時間を潰されるだけ」と思われてらっしゃるかも知れませんが、現在では以前のようない「あて名書き作業」なども無くなり、学年幹事の仕事はかなり楽になりました。

長い間学校を離れると、なんとなく気がおくれになってつい同窓会の案内にも欠席の返事をしを深めていきましようという話になり、また、違った形のクラス会にしようと模索しています。

四十七回生クラス会

四十七回生 近藤 真子

昨年九月二十三日、同窓会室にて四十七回生の小学校の同窓会を行いました。

学園創立五十周年の年に六年生だった私達四十七回生は、卒業記念として『二十歳の自分へ宛てた手紙』を入れたタイムカプセルを埋めており、二十歳になつたら開けに来ようと皆で約束していました。中には十年ぶりの再会となったメンバーもいましたが、月日の流れを全く感じさせないほど当時と変わらない居心地の良い時間でした。最後にになりましたが、今回の同窓会開催にあたってご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。

また、残念ながらご都合が合わなかった吉田(旧姓古西)先生からはボイスレコーダーでメッセージが届き、変わらない先生のお声に皆、一気に当時へ時を遡ったようでした。手紙は高島先生から一人ひと



活躍されている同窓生の紹介コーナー



六回生 山野真実子 (旧姓 中村)

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか?毎年一回送られてくる会報を楽しみに読ませて頂いている一人ですが、この度は編集委員さんからのご依頼で今の私について書かせて頂くことになりました。現在、私は「カトリック社会活動神戸センター」というボランティアセンターで働いています。ここは二十一年前の阪神淡路大震災の折に緊急支援基地として設立され、



十七回生 木下容子 (旧姓 三原)

愛徳同窓生の皆様、こんにちは。お元気でいらっしゃいますか。私は、十七回生の三原容子です。

私は、愛徳で十二年間お世話になり、その後、英知大学でスペイン語を学びました。一九八四年に初めて訪れたスペインに魅せられ、卒業後に移住してしまいました。もう、三十年も前のことです。その頃のスペインは、まだ田舎

様々な活動を行って来たところ。多くのボランティアグループが震災後一年をきつかけに解散して行く中、「谷間に置かれた人々の心を生かす」を標語に特に公的支援の手から零れ落ちた人々への恒常的な支援へと活動を切り替え現在に至っています。主な活動は、炊き出しでの昼食提供や夜回り、生活相談や医療相談、物資の提供などの野宿者支援や滞日外国人、高齢者・障がい者の支援も行っています。他にアルコールや薬物等、依存症の自助グループのバックアップ支援も。また「Come & see」のスローガンを基に若者の体験学習の場ともなっており、学園の生徒達も年に数回参加しています。

私達の暮らすこの社会の構成メンバーに目を向け、自分の回りで出来る支援の輪を広げて行くことの出来る人に成長して欲しいと願っています。今、この二十一年を振り返り、私を支えたものは取りも直さず愛徳での生活であったとあらためて感じています。誰にでもある人生の転換期の一つ目を学園での受洗という形で経験し、修道会への入会を希望しましたが、シスター堀井に「一度社会をちゃんと見てきなさい」と言われ就職。そしてエマウスのボランティア活動に出会い、ボランティアの素晴らしさを知りました。やがて家庭人となり一人娘を授かったことが二つ目の転換期となり、命を取り巻

で、テレビも国営放送二局だけ。しかも、シエスタ(昼寝)の時間には、テレビ局も番組を放映しないという、なんともんびりとした国でした。私は、学園で学んだおかげで、スペインを身近に感じていましたが、一般的には、当時の日本では、あまり話題にならない国でした。

しかし、一九八六年E.Uに加盟、一九九二年のオリピックと万博博覧会を経て、今では、バルセロナの「聖家族教会」聖ヤコブのお墓があることされる。サンティアゴ巡礼道、奈良市の姉妹都市である古の都「トレド」などの観光地を初め、レアル・マドリッドやバルサに代表されるサッカーチーム、オ

く環境や食の大切さに目覚め活動をし始めた矢先に大震災が起きました。これは生き方の価値観が一八〇度変わった三つ目の転換期でした。世の中には様々な人がいることを知り、普通の子育てを中心の主婦の生活から社会活動に深く関わる生活へと変化して行きました。上述しましたようにこれ迄活動を続けて来られた源泉は学園で培われたものです。これからも一人一人が人として平等に扱われる世の中が来ることを願いつつ、その社会の実現を目指して活動を続けていきたいと思っています。多くの卒業生の皆さんがボランティアとして支えて下さっていることに心から感謝申し上げます。

私は、一九八八年以来、観光ガイドとして日本から来られる方にスペインの良さを知って頂くことを仕事にしました。そして、二年前にスペイン人の友人が営む旅行会社に、日本人部門を立ち上げました。三十年近いスペイン生活をを通して、私が本当に知って貰いたいスペインの良さを形にしてみました。

古代からの歴史の流れと、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教という三つの宗教が織りなすスペインの文化は、とても個性的な魅力に溢れています。また、その文化が生み出し

た独特の建築や美術、言語や生活習慣は、今も生活の中に生きています。私は、観光立国であるスペインで、観光業に携わること誇りに思い、これからも勉強を続けていきたいと思っています。そして、同窓生の皆様に、各自の希望に合わせた旅を形にして、その魅力をお伝えしたいと思っています。

是非、ご一報下さい。

最後に、学園の益々の発展と、同窓生、在校生の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

○連絡先

mail:span_tab@hotmail.com
http://www.pizifworld.com/jp

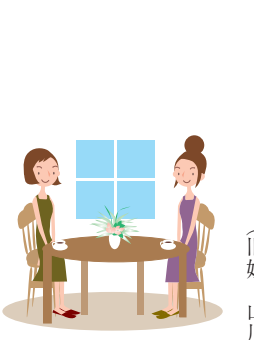
同窓生のお店の紹介コーナー

Medical Herb School
神戸市垂水区霞ヶ丘6丁目4-36
ネパール産垂水霞ヶ丘307号
☎078-1704-3022
http://dog.livedoor.jp/medicaherbschool/



自宅のマンションで、スウェーデンマッサージやアロマトリートメントを行います。ドイツ、英国の精油、植物油などオーガニックアロマ用品やオーストリア、ドイツのハーブティーを扱っています。二十回生 濱本 瑞穂(旧姓 平田)

Cafe Chou Chou
☎078-955-1701



二年前に会報に載せて頂いた学園前にあるCafe Chou Chouです。Cafeの貸し切りを昨年より始めました。※貸し切料金は、相談に応じます。(十五名) 十七回生 西河内 美根子(旧姓 山川)

W.I.S.H
神戸市東灘区住吉本町2丁目20-26
☎078-856-2123
JR住吉駅から北に徒歩5分、山手幹線沿い「室内」交差点角。
e-mail:admin@we-wish.co.jp
http://www.we-wish.co.jp



にご相談頂きたいなど東灘区住吉にショップ兼ショールームをもうけています。店内では、私がじっくり選んだ食器やタオルなどのインテリア用品をゆっくりにご覧頂けるほか、奥の寝具コーナーでは京都の老舗寝具メーカーのこだわり寝具を実際にご体感頂けます。

デザインである夫は、家具や空間のデザインを担当。オーダーメイドでキッチンをつくったり、お家まるごとリフォームしたり様々なご要望にお答えしています。

ご無沙汰しております。十九回生の今井晶子(旧姓:小西)です。私は、十五年前より夫婦でインテリアの仕事をしておりまして、悩みや困り事を気軽に

お近くいらしたらお立ち寄りください。私がいつもお迎えいたします。愛徳OGです!とお声かけください。お目にかかれずのを楽しみにしております。

なつかしの写真コーナー



1955年(昭和30年)
2回生がたぶん1年生の頃の写真です。



2
回生



1968年(昭和43年)4回生の卒業式
エルマナ・ベルナデッタ中尾
エルマナ・セシリア堀井
エルマナ・エリザベト樋口
吉井先生
と一緒に

4
回生





アメリカ基金

親愛なる皆様、皆様へ心からご挨拶申し上げます。

私達は、愛徳カルメル会を通して、皆様からヴェドゥルナ財団へ8万円のご寄付をいただいたこと、心より深く感謝申し上げます。

皆様からの思いやりのある贈り物は、私達の使命を続けていくことに必要な財政的、論理的な支援を与えてくださいます。長年にわたっての皆様からのご寄付は、私達の使命である、お腹を空かせた子供達への食事や、安全なシェルターの提供、身寄りのない人々のお世話をする環境、また、彼ら自身の存在や生まれ持った彼らの価値というものを失うことのない、より良い未来を保証するという、温かい約束がなされています。

私達は、あなた方の真心にこれ以上の感謝を伝えることができません。

何度となく、喜びのうちに答えてくださる皆様の献身と寛大さに、私達は常に力づけられています。

皆様のご支援は、繰り返し、私達の使命を継続可能にする重要な役割を果たしてきました。

神様は、愛を持って皆様を見守っておられます。そして、これからも私達は皆様との末長い協力を築けたらと願います。

ありがとうございました。

キリストのうちに、

Sr.ヘノヴェヴァ E. スサダ、CCV

代表

愛徳カルメル会/ヴェドゥルナ財団



ホアキナ会のご案内

毎月第4木曜日の14:00~15:30迄修道院にてホアキナ会の集いがあります。Sr.中尾、Sr.堀井、Sr.越田を中心に15名程の集まりです。

聖書の御言葉や、創立者 聖女ホアキナ様のお話をお聞きした後、皆で分かち合っております。取材をさせていただいた4月28日は、いつくしみについて、ゆるすことの意味についてお話をされていました。Sr.堀井の「母性はいつくしみの固まりですよね」のお話がとても印象的でした。お祈りの後は楽しい茶話会で交流を深めております。同窓生の皆様お気軽にどうぞご参加下さい。

お問い合わせはSr.越田まで



マザーテレサの言葉

大切なのはどれだけの愛をその行いに込めるかということです。

聖女 ホアキナの言葉

全ては過ぎ去ります。
神様の愛だけはいつまでもとどまります。
いつまでもとどまるものを大切にしましょう。



バザー

昨年11月3日に行われたバザーは皆様のご協力により楽しく無事に終える事が出来ました。

今年は奇数年を中心に準備をしたいと思っておりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。今年も心のもった手作りケーキやクッキー、かわいい刺しゅうやアップリケのついたかばんやポーチ、聖書カバーなどご用意致します。どうぞ多数の皆様が同窓会のお店にお寄り下さいますようお願いしております。

今年度のバザーは平成28年11月3日(木)に行われます。



平成27年度バザー会計報告

(円)

	収入	支出	残高
物品売上	335,050		
材料費		58,787	
亀井堂仕入れ		28,080	
振込料		238	
飲料仕入		10,797	
会議費その他		33,258	
アメリカ基金		80,000	
学園へ寄付		100,000	
合計	335,050	311,160	23,890

利益 23,890円は同窓会会計に入金いたしました。

上記の通り収支報告いたします。

平成27年11月3日

愛徳学園同窓会 会長 石井トクコ・アイリーニ
会計 喜多久満子

平成28年度 役員・各回生幹事

回生	役職	氏名	旧姓	回生	役職	氏名	旧姓	回生	役職	氏名	旧姓	回生	役職	氏名	旧姓	回生	役職	氏名	旧姓
1	代表	福田 淑江	高島	12	代表	喜多 和子	喜多	23	代表	市榮 玲子	駒津	34	代表	米谷 千紗	松井	45	代表	近藤 祐子	
	副	二宮 知	中村		副	松崎 順子	牛田		副	菅野 千絵	寺岡		副	真弓 佳子		46	副	田中 綾香	
2	代表	橋本 惟子	小西	13	代表	宮本 郁代	大川	24	代表	松崎 裕子	上野	35	代表	中濱 佳子		47	代表	播本 優子	
	副	岡田 幸	松下		副	上崎 清美	山根		副	榎一 美紀	安賀		副	三枝 藍		48	副	松岡 由起	
3	代表	金盛八重子	大西	14	代表	萬井智恵子	川元	25	代表	近藤 京子	服部	36	代表	横川 明里	谷口	49	代表	近藤 真子	
	副	松井富砂子	西田		副	片山 朋子	川上		副	亀井 一美	奥野		副	大場 久子		50	副	谷口 真菜	
4	代表	横山 佳子	川江	15	代表	小林久美子		26	代表	中田 洋子	福光	37	代表	土井絵里奈		51	代表	石丸 愛子	
	副	小池 悦子	多田		副	森本 千秋	石野		副	中村加奈子	西永		副	木村美由紀		52	副	佐伯 直香	
5	代表	井納れい子	大矢	16	代表	加藤 美紀	加藤	27	代表	家永 治恵	菅野	38	代表	岩佐美千子	荒木	49	代表	岩崎 悠	
	副	藤田 節子	水野		副	中津 聖子	佐野		副	宮永 美恵	岸本		副	菊永早由里	丹治	50	副	今田明日香	
6	代表	前田 英子	榎尾	17	代表	川尻 康子		28	代表	松田かおり	山本	39	代表	星川 恵美		51	代表	川端 千裕	
	副	松下 雅子	西川		副	竹増 良子			副	森 倫子	大石		副	西川 可恵		52	副	小出穂乃果	
7	代表	北本 雅子	青田	18	代表	沖本 敦子	村元	29	代表	キーズ亜衣子	伊勢	40	代表	石川 実穂			代表	秋田 季美	
	副	三宅智津子	白崎		副	前野 佳恵	福本		副	齋藤美由紀	藤原		副	鈴木 穂	神原		副	石濱 佳歩	
8	代表	岡本美知子	小山	19	代表	小西 孝子	村上	30	代表	松井 千晃		41	代表	下元笑美子			副	青木 奈央	
	副	北川ひとみ	北川		副	福島 真理	先田		副	仲東 智子	永山		副	櫻井 加織			副	安藤 佑佳	
9	代表	石川 恭美	柴田	20	代表	友藤 佳代	藤田	31	代表	全徳 真矢	野田	42	代表	山本ルリ子			代表	浪川菜結香	
	副	岸本貴美代	宇多		副	小田 佳子	足立		副	曾我部有紀	福島		副	藤瀬 弥生	福廣		副	徳永 紗椰	
	副	田中 和子	山根		代表	三好由佳里	安保	32	代表	上地 園美		43	代表	松尾 実咲			副	新 美聡	
10	代表	秋田 京子	秋田	21	副	高松美奈子	山田		副	仲川裕美子		44	代表	森下 瑞生			副	永富 美帆	
	副	大西 周子	浦藪		副	入江 洋子			代表	浅見 彩子			副	青山 美里					
11	代表	福井 明美	田村	22	代表	宰川 雅子	飯室	33	副	竹内 尚美	有馬								
	副	平山千恵子	小路		副	吉田 由紀	橘		副	梶村 杏子									

平成28年度 役員

役職	回生	氏名	旧姓
会長	7	石井トクコ・アイリーニ	ヤング
副会長	18	西河智佐子	石本
会計	19	服部 直子	前田
書記	19	宝生 多美	坂口
役員	20	大島 ゆか	
	20	藪口 佳子	大村
会計監査	17	西河内美根子	山川
	18	喜多久満子	伊奈
理事	6	山野真実子	中村



平成28年度 入試案内

小学校

- 5月14日(土) 公開授業・説明会
- 5月25日(水) 公開行事・聖母つどい
- 7月23日(土) オープンスクール・説明会
- 10月 8日(土) 前期入学検査A日程
- 11月19日(土) 前期入学検査B日程
- 平成28年
- 1月21日(土) 後期入学検査

※本校を第一志望とする中・高の新入生で
母親が高等学校の卒業生である場合、入
学金が半額相当免除となります。

中・高

- 6月 5日(日) 説明会
- 8月27日(土) オープンスクール
[Rainbow Program] 体験
- 10月 8日(土) 説明会
- 11月12日(土) 説明会・公開授業
- 12月 4日(日) 中学説明会
- 12月10日(土) 高校説明会
- 平成29年
- 1月14日(土) 中学入試A日程
- 1月17日(火) 中学入試B日程
- 2月10日(金) 高校入試

平成27年度会計報告 自平成27年4月1日～至平成28年3月31日 (円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	15,136,442	通信費	465,114
51回生終身会費及び入会金	2,275,000	印刷費	252,720
体育大会収益金	13,357	慶弔費	20,800
バザー収益金	23,890	会議費	29,216
受け取り利息	1,844	事務消耗品費	40,850
		接待交際費	19,827
		同窓会設備費	120,000
		雑費	3,321
		租税公課	352
		次年度繰越金	16,498,333
合計	17,450,533	合計	17,450,533

前年度繰越金内訳 (円)		次年度繰越金内訳 (円)	
現金	金額	現金	金額
普通預金	26,193	普通預金	7,569
定期預金	883,747	定期預金	863,083
定額預金	5,826,502	定額預金	5,827,681
合計	8,400,000	合計	9,800,000
合計	15,136,442	合計	16,498,333

上記の通り会計報告をいたします。
愛徳学園同窓会会長 石井トクコ・アイリーニ
会計 喜多久満子

愛徳学園同窓会 平成27年度会計報告並びに関係書類を監査した結果、
正確かつ適正であることを確認いたしました。
愛徳学園同窓会会計監査 上野 樹世
西河内美根子

平成27年度 52回生合格状況

() 内の数字は既卒生の数です。

国公立大

- 神戸芸術工科大 1
- 神戸松蔭女子学院大 7
- 神戸女学院大 6
- 神戸女子大 4(1)
- 神戸親和女子大 3
- 神戸常盤大 1
- 園田女子大 1
- 兵庫大 1
- 武庫川女子大 1
- 流通科学大 1
- 岡山理科大 1(1)
- 倉敷芸術科学大 1
- ノートルダム清心女子大 1

私立大

- 上智大 1
- ヤマザキ学園大 1
- 神奈川大 1
- 京都産業大 1
- 京都女子大 1
- 同志社大 2
- 同志社女子大 1(1)
- 大阪芸術大 1
- 関西外国語大 1
- 関西大 5
- 近畿大 3(1)
- 大和大 2
- 大手前大 2
- 関西学院大 5
- (近大) 姫路大 2
- 甲南女子大 2
- 神戸海星女子学院大 1

短大

- 芦屋学園短大 1

専門学校

- 日本歯科学院専門 1
- ECCアーティスト専門 1
- 日本デザイナー学院 1
- 神戸市医師会看護専門 1
- パルモア学院英語専門 1

シスター異動のお知らせ

- Sr.鈴木 英子 - 神戸より鳥取へ 鳥取市西町1-455 愛徳カルメル会
- Sr.清水 幸子 - 松戸より垂水へ 神戸市垂水区霞ヶ丘7-4-4 愛徳カルメル会
- Sr.萩原登久子 - 島田より松戸へ 松戸市松戸1052-2 愛徳カルメル会

あ と が き

なつかしの写真コーナー等、紙面
を変えてみましたがいかがだったで
しょうか?
同窓生の皆様が大きな1つのファ
ミリーとしていつまでも温かくつな
がり合うことができますようにと祈
りを込めました。

同窓会からのお願い

- 住所変更は同窓会宛まで必ずお知らせ下さい。
[宛先] 〒655-0037 神戸市垂水区歌敷山3-6-49
[メール] aitokudousoukai@coast.ocn.ne.jp
- 恩師・同窓生の計報は各回生の幹事までお願いします。
- 同窓会室のご利用はクラス会あるいは少人数の茶話会と
しても可能です。メールにて1ヵ月前までにお問い合わせ
下さい。

愛徳幼稚園・神陵台愛徳幼稚園からのお知らせ

両園では延長保育をしております。
夕方6時まで1回500円。
ただし午前保育の水曜日は800円。
2時間の短時間利用は300円。
朝は7:30からお子様を預ることが
可能です。
ワーキングマザーのニーズに対応しております。

